

令和4年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 清心緑が丘認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策のため、全園児での集まりを控え、クラス別や年齢別・少人数で楽しめる活動に取り組んでいる。感染が始まると、一気に広がりを見せるため、今後の感染対策が課題。 ○ 子どもたちの心の育ちを育むため、クラスで野菜や花の栽培を行う。毎日の水やりや生長観察を行い、収穫を楽しむ。土の量や、水不足、植物にとっては害になる昆虫など、その時々工夫を行った。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染を広げず園内行事を行い、様々な体験を重ねながら園生活を快適に過ごす。 ○ 野菜や植物の特徴を知り、生長を楽しむ。 ○ 野菜に親しみをもち、食べる意欲や味の違いを知る。
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症マニュアルを見直し、登園時の手洗い消毒を行った。3・4・5歳児はマスク着用で、集まる際間隔をあけるなど基本的な対策に加え、年少・年長やクラスごとなど、感染状況によって単位を変えて活動を行う。 ○ 栽培の途中で、アブラムシが増えたり、土が少なく朝顔の芽が育たない時は、子どもと話し合い、忌避剤となる酢スプレーやミルクスプレーを作って対応する。収穫までの過程を絵に描いたり、収穫した野菜をホイップアートで製作したり、収穫した個数を図に表した作品 ○ は、地域の文化祭で展示する。 給食では「今日のトマトは〇〇組さんで採れたトマトです」と手紙が添えられ、収穫した野菜が調理され味わって食べている。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栽培では、クラスごとに話し合い野菜を決めて取り組む事で、自分の野菜の世話を積極的に責任をもって育てる事ができた。また、クラス対抗でスイカを栽培すると、育つ過程をよく観察し、実ができ収穫までを楽しむ事ができた。途中のアブラムシの発生・対策にも工夫を凝らし対応できた。苗を決めたり、トラブル対応をする際、クラスでの話し合いを図にしたり、みんなでドキュメンテーションとして残す工夫ができるようになった。
評価	<p>今年度は野菜や花の栽培を通して、子どもたちが探究的に活動する様子を、ドキュメンテーションを通してまとめたり、伝えたりすることが達成されてきた。話し合っ物事を進める中で、子どもたちが主体的に活動できるような工夫がなされていた。一つの継続した活動が子どもたちの意識につながりを持たせ、後伸びする力として育てることができたのではないと思われる。子どもの興味関心を中心にテーマをもった保育を組み立てる経験が、保育者の質を向上させたと考えられる。</p>